

将来の都市構造(案)

1. 拠点配置の方針

◆ 都市拠点（田原市街地）

田原市街地は、行政・商業・業務・文化・教育・交通機能等が最も集積している市街地であり、今後もこれら機能の充実をさらに図るとともに臨海部従業員の定住やまちなか居住の推進を図ります。

◆ 準都市拠点（福江市街地）

福江市街地は、都市拠点からも距離があり、半島先端部の生活の拠点となっているため、半島先端部の生活を支える都市機能施設を維持させ、渥美地域の中心にふさわしい市街地形成を図ります。

◆ 市街地拠点（赤羽根市街地）

赤羽根市街地は、道の駅あかばねロコステーションやサーフィンのメッカである太平洋ロングビーチなど固有の観光資源があるため、これら観光資源と連携した市街地形成を図ります。

◆ 産業集積拠点（臨海市街地）

臨海市街地は、県下でも有数の工業生産地域となっているため、今後も産業の集積を促進するとともに、職住近接型の居住環境の充実を図ります。

◆ 伊良湖交流拠点

伊良湖地区については、観光資源としてのポテンシャルが高く、半島の先端に位置しているため、重点的な整備や観光施策を実施し、半島全域に交流人口の誘引を図ります。

◆ 観光・交流拠点

農業公園サンテパークたはら及びその周辺、太平洋ロングビーチ及びその周辺等を観光・交流の核となる拠点として魅力の向上を図ります。

◆ コミュニティ拠点

コミュニティ拠点は、市民館を中心として地域主体のまちづくりを計画的に推進することにより、地域資源を活用した魅力の向上を図ります。

2. ネットワーク形成の方針

◆ 広域連携軸

広域連携軸は、広域計画のネットワークを基本に、以下の路線を位置づけ、早期整備を促進します。

広域連携軸	・伊勢湾口道路	・渥美半島縦貫道路	・三河湾口道路
-------	---------	-----------	---------

◆ 都市間連携軸

都市間連携軸は、豊橋市と浜松市との連携を図るため、以下の国・県道3路線を位置づけ、既存道路の改良、整備により都市間の交通改善を図ります。

都市間連携軸	・国道259号	・国道42号	・(主)豊橋渥美線	・豊橋鉄道渥美線
--------	---------	--------	-----------	----------

◆ 市街地間連携軸

市街地間連携軸は、都市拠点と他の拠点との連携を図るため、以下の幹線道路を位置づけ、市街地間の交通改善を図ります。

市街地間連携軸	<ul style="list-style-type: none"> ・(県)高松石神線（田原市街地～福江市街地間） ・(主)田原高松線（田原市街地～赤羽根市街地間） ・(県)高松石神線・赤羽根泉港線（福江市街地～赤羽根市街地） ・(県)城下田原線（国道42号～田原市街地～臨海都市街地）
---------	--

◆ 鉄道軸

鉄道軸は、利用促進に向けた利便性の向上や都市機能の充実を図ります。

鉄道軸	・豊橋鉄道渥美線
-----	----------

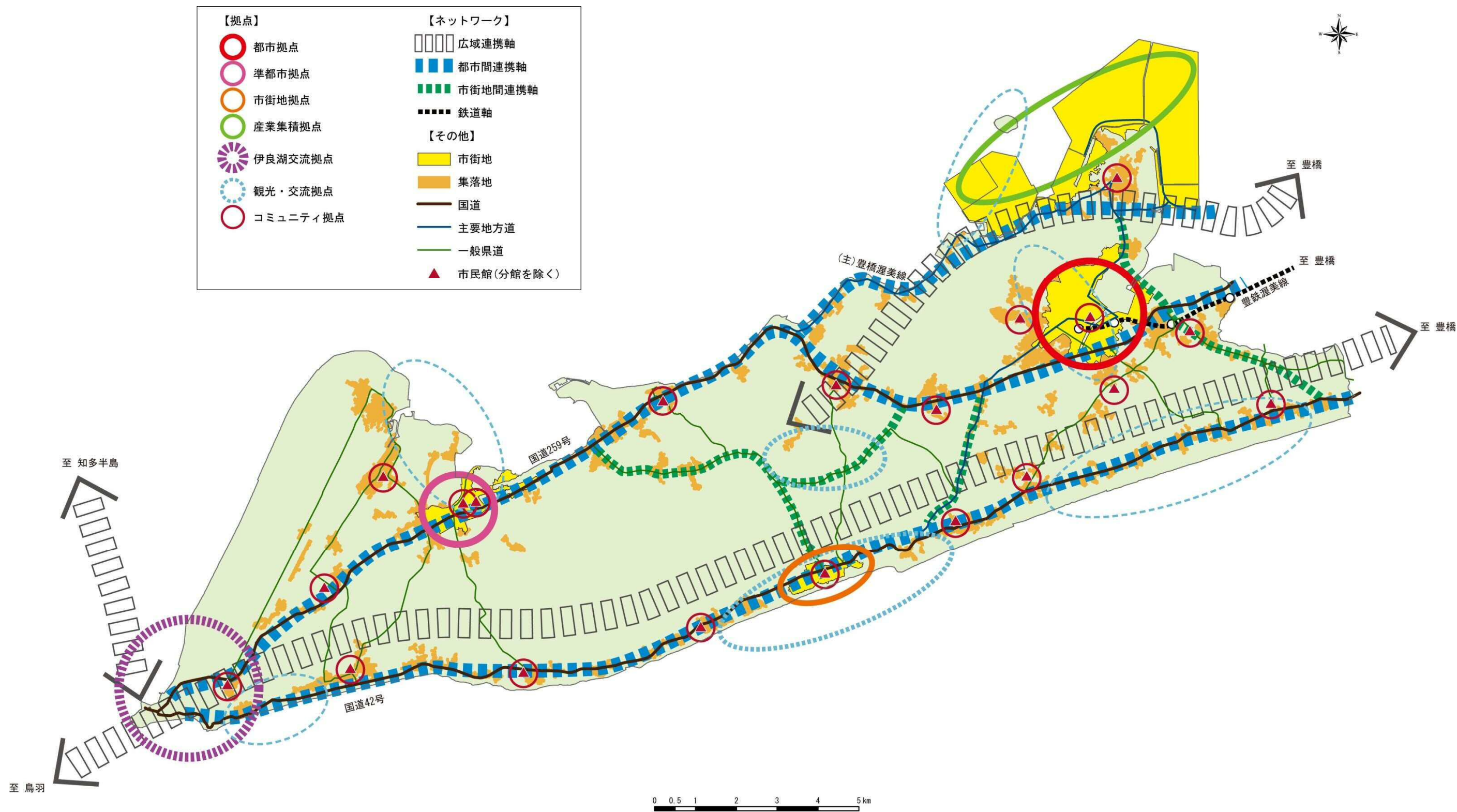


図 将来都市構造図